

新しい図書拠点の活用イメージについて

令和4年1月1日号『広報たかはま』で紹介したように、今後図書館機能を「いきいき広場」および「かわら美術館」の両施設へ移転し、現在行われている両施設での活動や特色をいかした運営をめざすことを検討しています。今回は具体的に移転施設の部屋や活用イメージ(案)について考えます。

これからの図書館のカタチカラ

第14回 新たな図書館のイメージ(案)について

高浜市において、これからの時代にふさわしい「図書館のあり方」(役割・必要な機能)について、『これからの図書館のカタチ・チカラ』と題して、『広報たかはま』などをとおして市民の皆さんとともに考えていきます。今号は移転先での運営イメージ(案)などについて紹介します。

この連載に関する感想などは、こちらのアンケートフォームから



ココが気になる

Q 両施設のどの場所に図書を置くの？

いきいき広場は2階ラウンジの一角・2階第2マシンスタジオ・3階子ども発達Bを、かわら美術館は陶芸創作室を図書館機能へと転換することをめざしています。

A

イメージ(案) ~例えばこんなふうに活用できるよね~

美術館

いきいき広場



ラウンジ・公園でくつろぎながら読書



行政窓口が近くにあるまちの情報が集まる場へ



子育て・子育てのスペースに

現在

市立図書館・郷土資料館

開架コーナー・一般書

事務機能

学習室

児童書(えほんの森)

開架書庫

郷土資料館

※郷土資料は美術館などでの活用を計画する。

※現在の図書館・郷土資料館は機能移転後、開架書庫・郷土資料保管庫となる。

移転後の案

かわら美術館

2階の陶芸創作室に図書館機能を移転予定。かわら美術館の展示などの相乗効果をねらう。

一般書・児童書・芸術・郷土資料関係図書

事務機能



いきいき広場

福祉、教育・子育てにつながるような本の出会いをつくり出す。とくに保健事業や発達といった子育て・子育て支援機能の近くに絵本スペースを置くことで支援を充実する。



くらしを支える図書

2階ラウンジの一角

学習スペース・図書

2階第2マシンスタジオ

絵本・児童書

3階子ども発達B

ココが気になる

Q 図書館機能をいきいき広場とかかわら美術館に移転したら、現在の市立図書館や郷土資料館(碧海町)はどうなるの？

機能移転後、開架書庫および郷土資料保管庫とします。現図書館・郷土資料館は築40年以上が経過しており、今後も市民の皆さんの利用を続けるとなると空調などの設備更新や建物の改修などが必要です。しかし、機能を既存施設に移転すれば、その費用は削減することが可能になります。

A

◆ 図書館での催しに関しては25ページに記載がある「図書館情報」や図書館公式ホームページ、フェイスブックおよびツイッターを確認してください。

◆ 今後も図書館の取り組みなどについては『広報たかはま』においてお知らせします。



▲ホームページ ▲フェイスブック ▲ツイッター

問合せ先 [いきいき文化スポーツグループ](#) ☎ 52-1111(内線331)